

すぎなみ 教育報

No. 231

平成30年12月6日
(年4回発行)



発行 杉並区教育委員会

CONTENTS

- 特集 社会教育センターと郷土博物館で
学ぼう…………… 2
- 2018 すぎなみ教育シンポジウム …… 5
- 我が校はコミュニティ・スクール!①…… 6
- 「地域学校協働活動 文部科学大臣表彰」受賞
第10回中学生「東京駅伝」大会の予告… 7
- ようこそ学校図書館へ⑤
- 第6期杉並区中学生海外留学事業 …… 8
- 中央図書館の改修工事と休館について
教育委員会からのお知らせ



生涯にわたる豊かな 学びを支えるために

教育委員会では多様なかかわり・つながりの中で学びあい、
学び続けられるよう様々な取組を行っています。

社会教育センターと郷土博物館で学ぼう

区内には、身近な場所で豊かな学びを育み、歴史に親しむことができる学校外の教育施設があります。本特集では、来年、開館 30 周年を迎える社会教育センターと郷土博物館を支える方々がそれぞれの施設の魅力と事業や仕事の内容を紹介します。

子どもの学びを支える大人の学びがある

社会教育センター

社会教育センターでは、様々なイベントや学級・講座等を開催しています。これらの事業を通じて、人と人、人と地域をつなぎ学びを核とした地域づくりを支援しています。事業の参加者は、新たな出会いや気付きから、学校や仕事、家庭とは違ったつながりを楽しんでいます。こうした大人たちが学び得たことを発信し、さらに学びあい、次代を担う子どもたちにもその成果を伝えています。



社会教育主事
はた ひろこ
秦 弘子さん

「やりたいことや学びたいことは“出会い”から見つかることも。講座や催しなど気軽に参加してください!」

大学生のときに受講した社会教育主事講習の実習で、様々な学びの場が「居場所」として誰かの支えや応援になったり幸せにつながったりすると感じ、そうした場を自分もつくりたいと思って社会教育主事になりました。周囲の大人が背中を押してくれたことも大きかったです。

社会教育主事って何をしているの?

区民の皆さんの「学びたい」気持ちを応援する専門職員です。子どもたちの学校外での体験的な学びの場や、人との出会いや新しい知識を得て自分の世界を広げたいと思っている大人の学びの場を、地域団体、専門施設などと協力しながら提供しています。

すぎなみサイエンスフェスタ

子どもから大人まで、世代を超えて科学に親しみ学ぶことができる参加体験型科学の祭典です。主催する実行委員会は別々の団体等に所属する皆さんで構成されています。20以上の団体等が科学の不思議さや面白さを伝えようと、学びのチカラを結集します。

お知らせ

第4回 すぎなみサイエンスフェスタ

科学の不思議さや面白さを体験してください。

平成31年3月3日(日) 午後1時~4時

【会場】セシオン杉並(梅里1-22-32)

詳細は平成31年2月15日頃、広報すぎなみ、教育委員会HP等でご案内します。

【仕事のやりがい】

参加者が楽しそうに生き生きと取り組む様子を見たり、気付きや学びあいから生まれる人と人との関係性の変化やつながりを感じられたときが、特にやっていて良かったと思う瞬間です。



【参加者の声】

中学生が豊富な知識でとても親切丁寧に教えてくれ、子どもは夢中になっていました。



身近にあるものの科学を分かりやすく見せてくれる催しものがたくさんあり、とても楽しかったです。



すぎなみサイエンスフェスタを支える皆さん



【実行委員長】浅井 義彦さん

私たちの暮らしは科学と密接に関わっています。科学を学ぶことで身の回りの出来事を正しく理解し、生活をより豊かにすることができます。そんな科学の大切さを楽しく伝えようとみんなで力を合わせてサイエンスフェスタを実施しています。

【実行委員】藤井 弓子さん
サイエンスホッパーズ

「考えること」「不思議だなと思うこと」「科学に興味をもつこと」を楽しみながらできるといいなという母親たちの思いから、科学実験教室などを開催しています。科学に関する様々な体験ができるサイエンスフェスタをきっかけに、子どもたちが興味を持ったり、調べたり、さらに科学の魅力を伝える側になったらうれしいです。



【実行委員】檜枝 光太郎さん

だがしや楽校サイエンスくらぶ

社会教育センターの講座「すぎなみ大人塾※」で一緒になった人からの紹介で、自分のできることで地域のためになる場だなと感じて活動に参加しました。実行委員会では、各団体の知識や経験等について学びあう学習会を開きながら準備していますので、次回はさらに深みのあるサイエンスフェスタになると思います。

このほかにも様々なイベントや講座等を開催しています。

社会教育センター：梅里1-22-32 セシオン杉並内 ☎03-3317-6621

受付時間：午前8時30分～午後5時15分 月～金（祝日、12/29～1/3除く）

※新しい地域づくりのための自由な発想を育む大人の学習の場です。

杉並の歴史を知り明日を考える 郷土博物館

杉並に人々が住み始めた約 32000 年前から今日にいたるまでの歴史について、学芸員が様々な調査・研究などを通じて、子どもから大人まで楽しめる企画や展示を、本館と分館で行っています。見学やイベントで実物に触れ、体験することで、意外な驚きに出会い興味や親しみを持つきっかけとなる場所です。



学芸員
もりいずみ かい
森泉 海さん

「子どもたちにとって、自分のふるさとなる杉並区を好きになってもらいたい」

子どもの頃から両親に連れられ全国の史跡や博物館を巡ったことで歴史に興味を持ちました。特に明治時代以降の近代史が好きで、近代以降に発展した杉並の歴史に魅了され、自分も多くの人に興味を持ってもらえるような展示を企画してみたいと学芸員になりました。

学芸員って何をしているの?

資料を集めてどう使われたりしたものか研究したり調べたりして、展示の企画、図録の執筆、取材対応、展示品の解説、講演会などを行っています。また、子どもたちや地域の皆さんの学習のお手伝いをする役割も持っています。

※図や写真を使って展示内容を解説した冊子のことです。

展示を作るまで

①テーマ検討・決定：杉並区と関係のある歴史、出来事、人物について意見を出し合います。

②調査・資料収集：本や論文をたくさん読んで様々な角度から知識を深め、展示に反映させることが重要です。

③解説文作成：調べたことをなるべく短くて、分かりやすく上手にまとめます。

④展示の配置：見やすさなどを考えて、何をどこに置いたらよいかよく考えて資料を並べます。

【仕事のやりがい】

自分が企画した展示を面白かったと言ってもらえたり、一度来た子どもたちがお父さんお母さんや友達を連れてまた来てくれたりしたときはうれしいです。



石山太柏展 担当の山田学芸員



「石山太柏展」分館にて1/20まで開催中



展示準備風景

事業紹介：子ども博物館教室
「オリジナル兜で君も戦国武将」 (開催済み)

段ボールの製作キットを使って戦国武将の兜をみんなで作り、兜や鎧の役割についての解説をしました。また、ふるさとへの興味を持ってもらえるよう、戦国期の杉並の歴史や関係する武将について紹介しました。本物の鎧兜を着付けて重さを体験し、歴史を身近に感じてもらいました。次回も面白い企画を考えていますので、期待してくださいね。



森泉さんの郷土博物館ここがイチオシ! Point

その1

自分の住むまちの歴史や文化などの自由研究の調べ方や、展示を見てわからないこと、「もっと知りたい」という疑問に学芸員が答えます。気軽に声を掛けてください。

その2

土日・祝日(午後0時30分～)に本館の古民家で杉並の歴史や昔の暮らしに詳しいボランティアさんたちが囲炉裏に火をつけ、お茶を提供してくれます。ほっこりしながら、歴史の話聞くことができますよ。



本館の古民家

郷土博物館本館 収蔵資料展のお知らせ

「家族で語ろう! 昔の暮らしと今の暮らし」

ちょっと昔の生活道具から、暮らしが変わってきたことを楽しく学んで語り合ってください。道具の変化に、先人たちの工夫と知恵を感じ取ってほしいです。

展示期間 12/15(土)～平成31年2/24(日) 午前9時～午後5時
1/19・2/17(午後1時30分～3時30分)に炭を使った道具の体験イベントあり!
休館日等の情報は【利用のご案内】をご確認ください。

【利用のご案内】

本館：大宮1-20-8 (☎03-3317-0841) 分館：天沼3-23-1 (☎03-5347-9801)
開館時間：午前9時～午後5時
休館日：月曜、第3木曜(祝日と重なった場合は翌日)、12/28～1/4
本館観覧料：100円(20名以上の団体は1人80円)

杉並 博物館 検索

中学生以下無料

2018 すぎなみ教育シンポジウム



【日 時】 平成30年12月15日(土)
午後1時30分～4時30分(開場 午後1時)

【会 場】 高井戸地域区民センター
(高井戸東 3-7-5)

【申込み方法】

電話またはメールでお申し込みください。メールの場合は、【件名】すぎなみ教育シンポジウム【本文】氏名と電話番号を記入してください。
※先着順で定員(300名)になり次第、締め切りとなります。
※個人情報は適切に管理し、当事業の目的以外では使用しません。

【申込み締切日】 平成30年12月14日(金)

【問合せ・申込み】 学校支援課 学校支援係
電話：03-5307-0756
※午前8時30分～午後5時(土日祝除く)
✉: gakkou-sien@city.suginami.lg.jp

【その他】 筆記用具を持参ください。
手話通訳あり。

杉並の教育をみんなで考えるすぎなみ教育シンポジウム。今年度は、「持続可能な社会や学校、地域をつくるために」「多様な見方・考え方・感じ方・あり方をお互いにわかり合うために」という二つの視点を軸に、皆さんと一緒に「これからの杉並の教育」について考えていきます。多くの参加をお待ちしています。

来ればわかる! 「持続可能性」と「多様性」

「持続可能性」と「多様性」って、最近聞くことは多いけれど、「それって何のこと?」と感じている方も多いと思います。今回のシンポジウムでは、それぞれの分野のスペシャリストを登壇者として招いています。シンポジウムに参加いただくことで、皆さんの疑問も解消されるはずですよ。

なぜ、これからの杉並の教育を考える上で、この二つの視点を軸にするの?

先の予測が立てにくい社会にあって、これからの教育を考えるには、今の社会を自分とは違う他者とともに構成していくという「多様性」の視点と、次の時代をより豊かに次の世代が創り出していくという「持続可能性」の視点が欠かせないからです。また、教育の内容やその学び方も、知識重視から、自ら問いを立てその答えを他者とともに見つけていくことが求められています。

前半は、登壇者に専門家と杉並で育った文部科学省若手職員を迎え、シンポジウムを行います。

登壇者の話を聞いて「私が知りたいこと、わからなかったことは何だろう。私だったらどう考えるか。だから私はどうするか」を一人ひとりが考えるきっかけにしてください。

<登壇者>

○成田 喜一郎 氏

学校法人自由学園最高学部特任教授・区立西田小学校学校運営協議会委員
ユネスコスクールである西田小学校のESD(持続可能な開発のための教育)のカリキュラムデザインや授業改善アプローチの実践研究などの研究者として活動。



○福田 晴一 氏

三鷹市特別支援教室巡回心理士・前区立天沼小学校校長
特定非営利活動法人「みんなのコード」主任講師として勤務しながら、三鷹市特別支援教室巡回心理士や戸田市CSディレクターとして活動。



○岡嶋 美和 氏

文部科学省若手勉強会幹事・文化庁著作権課企画審議係長・区立小中学校卒業生
省内の有志職員、NPO法人ETIC.とともに、先取的な教育を実践する教育長・校長と産学官がつながる「場」の創出を目的とした「教育・学びの未来を創造する教育長・校長プラットフォーム」を運営。



○井出 隆安

杉並区教育委員会教育長
平成18年より現職。平成25年3月～平成27年2月中央教育審議会臨時委員。平成27年5月～平成29年2月中央教育審議会専門委員(生涯学習分科会)。



後半は、成田喜一郎氏の進行によるグループワーク(みんなで話そう!考えよう!)を行います。

プレゼント

郷土博物館本館・分館にお越しの際引換券を受付にお出ください。「ちょうの絵はがきセット」をお渡しします。ご来館お待ちしております!
平成31年3月31日まで(なくなり次第終了)

博物館からのプレゼント(引換券)

我が校はコミュニティ・スクール! ①

今号から、コミュニティ・スクールへの理解が更に深まるよう、コミュニティ・スクールになった各校の取組について様々な角度から紹介していきます。

今回は、子どもたちにコミュニティ・スクールの仕組みを分かりやすく伝えるために、校長先生が朝礼で自校の子どもたちにお話しした内容を紹介します。

※コミュニティ・スクールについては、前号の教育報 No.230 号(特集)・教育委員会 HP で紹介しています。

学校の未来図を共に考える 方南小学校 校長 小原 潤

コミュニティ・スクールというのは、「方南小のみんなの未来について、学校運営協議会の委員の方々と共に考える学校」です。

方南小の未来を考えるには、方南小の「今」を知ってもらうことが大切です。そこで、委員の皆さんに、みんなのことや学校の様子を知ってもらう必要があると校長先生は、考えました。



例えば、普段のみんなの学校生活を委員の皆さんに見てもらっています。

また、先生たちと委員の皆さんで、話をする機会をたくさん作っています。

みんなの学力のこと・体力のこと・考えていることも委員の皆さんと話し合い、みんなの「よい所」だけでなく「よくない所」も知ってもらうことが必要だと考えています。

その上で、1年後、3年後、5年後のみんなの姿について一緒に考えてもらっています。「みんなにどうなってほしいか」「そのために何をしたらいいか」について真剣に話し合いをしています。

委員の皆さんは、方南小と方南小に通うみんなのことを他人事ではなく、自分たちのこととして考えて、様々なご意見を出してくださいます。

そうした話し合いの中で、方南小の先生たちと委員の皆さんが気持ちを一つにして、方南小をより良い学校としていくことを目指しています。

方南小学校では、委員の皆さんの力は欠かせません。委員の皆さんに会ったときには、いつものように挨拶をしましょう。



問合せ：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

「あん子応援団」が平成30年度「地域学校協働活動 文部科学大臣表彰」を受賞!

松庵小学校の学校支援本部「あん子応援団」(教育報No.225号・教育委員会HP参照)が、平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

これは、学校支援本部が「子どもたちの学校生活の充実発展のために」という目標のもと、毎年総勢100名を超える様々な年代・立場の多様なボランティアの皆さんをつなげ、協働の輪を広げる活動が地域ぐるみでの学校支援活動を持続・発展させる取組として評価されたものです。

本部長 鎌田あつ子さんのコメント

応援団全員で喜んでおります。ありがとうございました。

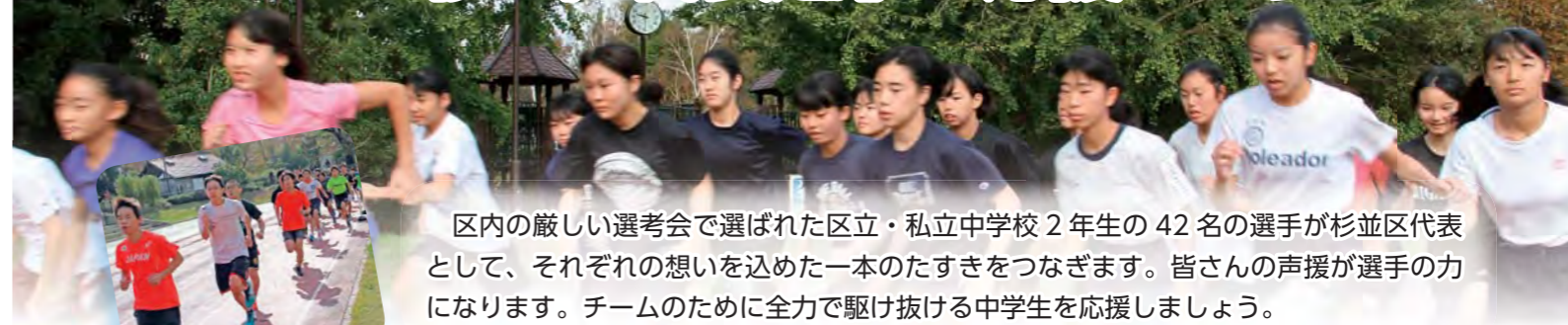
平成21年のあん子応援団結成以来、松庵小学校の児童の様々な体験や経験となる取組を支援してまいりました。この表彰を励みに、更に、あん子応援団が一丸となり、松庵小学校を盛り上げてまいります。(写真前列中央)

地域の方々による学校支援活動の中で、特に優れた活動が表彰されるものです。杉並区では今年度の松庵小学校で7校目の受賞となります。



問合せ：学校支援課 学校支援係 ☎03-5307-0756

第10回中学生「東京駅伝」大会で杉並区代表選手を応援しよう!



区内の厳しい選考会で選ばれた区立・私立中学校2年生の42名の選手が杉並区代表として、それぞれの想いを込めた一本のたすきをつなぎます。皆さんの声援が選手の力になります。チームのために全力で駆け抜ける中学生を応援しましょう。

【日程】

平成31年2月3日(日) 女子スタート：午前10時 男子スタート：午後1時

【コース】

アミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)・都立武蔵野の森公園 特設周回コース

【応援場所】

今年度は、味の素スタジアムが改修工事をしているため、例年とは異なり、スタジアム周辺の特設周回コースを走ります。このため、応援場所は都立武蔵野の森総合スポーツプラザ4階席及びコース沿道となります。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

選考会には各校から推薦された105名の生徒が臨みました。



連載2

ようこそ学校図書館へ



その⑤ 井草中学校

「ブックガーデン」は、図書委員会が主催する昼休みの10分間のイベントで、平成25年から43回(年7回)開催してきました。当初は学校司書が生徒に本を紹介する場でしたが、今では生徒が自ら企画する、遊び心のある様々なジャンルのイベントへと発展しました。準備は図書委員会の生徒が話し合い、テーマや内容を決めます。何回か発表原稿を持ち寄り、開催に向けて準備を重ね、リハーサルも行います。先生が指導を行い、学校司書は開催予告ポスターと当日配布する図書紹介パンフレットを準備します。

参加者には、図書館ポイントカードにスタンプを押します。ポイントが貯まると人気の特製しおり進呈!



内容は、紙芝居、辞典クイズ、本パズル、ビンゴで本紹介、本にちなんだ音楽を流しながらのブックトーク、小説の書き出しクイズ等、実にバリエーション豊

井草中学校の図書館は、通路一体型のオープンスペースで、日に何度も生徒や先生が行き交います。その場所の利点を生かして、路上ライブのように誰もが気軽に参加できる「ブックガーデン」を行っています。

11月開催(和室実施)「ももたろうダウトをさがせ」(1年生担当)



かです。たかが10分、されど10分。10分の積み重ねで歴代の図書委員が多くの本を取り上げ、生徒たちも様々な本を手取るようになりました。

学校司書の牧野さんは、「これからも、学校の特色や環境を生かし、先生方との関わりを深めながら、本と生徒を結ぶ働きができれば」と話しています。

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

8月15日～
27日実施

第6期杉並区中学生海外留学事業

杉並区次世代育成
基金活用事業

区内在住の中学校2・3年生25名が交流都市であるオーストラリアのウィロビー市を中心に現地校授業体験、ホストファミリーとの交流、現地日本企業等への職場訪問、課題研究を行いました。様々な体験プログラムを通して、派遣生は自分の持ち味を見付け、自ら学び、判断することの大切さを学びました。また、今までの自分と将来の自分の生き方についても考えさせられる貴重な経験をすることができました。



現地校授業体験



現地日本企業訪問



派遣生感想

オーストラリアで生活をして、英語力以上に「伝えよう」という気持ちが大切であることが分かりました。今までは、消極的でしたが、帰国後は積極的に人とコミュニケーションをとることを意識しています。

現地の生徒と一緒に授業を受けて、家で宿題をしたり、休日は色々な所に連れて行ってもらったり本当に貴重な経験でした。海外留学で得た学びを今後の人生に生かしていきたいです。

ホストファミリーとの交流



派遣生が学んだ体験プログラムの詳細は、教育委員会HPをご覧ください。

杉並区 中学生海外留学事業

問合せ：済美教育センター ☎03-3311-0021

中央図書館の改修工事と休館について

中央図書館は築後36年が経ち、エアコンや照明、水回り設備等が老朽化したため、一斉に交換する改修工事を行います。平成31年4月1日から休館し、翌32年9月1日（予定）のリニューアルオープン予定です。

なお、休館期間中は次のサービスを実施いたしますので、ご利用ください。

●中央図書館所蔵資料の貸出・閲覧

貸出の多い一般図書及び中央図書館のみに所蔵される資料の一部を高井戸図書館に移送・収蔵し、閲覧と予約貸出ができるようにします。

●荻窪臨時図書窓口の開設

(※開設時期は、別途お知らせします。)

天沼弁天池公園内の郷土博物館分館東棟1階に、予約本の受取・返却を取り扱う窓口を設けます。ここには、蔵書検索サービスが利用できる専用端末も設置します。

- 所在地 天沼3-23-1 (荻窪駅北口 徒歩10分)
- 開設時間 月～土 午前9時～午後8時
日・祝 午前9時～午後5時
- 休業日 第1月曜、第3木曜、12/31～1/4

問合せ：中央図書館 ☎03-3391-5754

教育委員会からのお知らせ

- ◎平成30年度杉並区教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成29年度分）は、「学校ICT環境の整備・活用の充実」に関連する平成29年度における主な事業・取組について、「子どもの学びにとってどのような成果があったのか」という視点で点検と評価を行いました。その結果をまとめた報告書は教育委員会HPに掲載しているほか、区役所区政資料室、各図書館でご覧いただけます。
- ◎昨年度に引き続き実施した「平成29年度における杉並和泉学園の運営等に関する検証結果」は教育委員会HPに掲載しているほか、区役所学校支援課でご覧いただけます。

広告

落ち着いた環境の中スポーツ合宿や研修に集中できる宿
1泊1名4,172円～（2食付）
※杉並区民のお客様、冬季期間利用時の料金
65歳以上の方は更に1,000円引き

富士学園 TEL: 0120-844-891 (予約センター)
0555-84-7031 (現地)
WEBサイト http://www.fujigakuen.jp/

源泉かけ流し 南伊豆の宿
杉並区民営化宿泊施設
弓ヶ浜クラブ

杉並区民の方 1泊2食付き ¥3,156～

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊781
お問い合わせ 0558-62-3187